

令和5年度 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

山形県立庄内総合高等学校 通信制の課程

学校教育目標	1 計画的な学習を通して、自主性・自立性を養い、実践力を高め、自らの道を切り開くことができる「たくましい力」を身につけさせる。 2 豊かな心を育み、個性の伸長を図りながら、他人と協調していく生活態度を育てる。 3 勤労の意義を理解し、積極的に社会の進展に寄与する態度を育てる。 4 心身の健康管理に努めさせ、自己実現のための強い意志と持続力を培う。
学校運営方針	1 地域の期待に応え、評価と公開に基づく透明性のある学校づくりを推進する。 2 教員一人ひとりが積極的・主体的に学校運営に参画できる組織運営と教職員間の協力体制を構築する。 3 通信制の特色を生かした学習指導や、生徒の多様な能力・適性に応じた指導の充実を図る。 4 教員の研修・研究の機会を積極的に設け、実践的指導力の向上を図る。 5 教職員の倫理観の向上を図るとともに、働き甲斐ややりがいを持って教育に専念できる環境づくりを目指す。

達成度	A	達成
	B	おおむね達成
	C	やや不十分
	D	不十分

自 己 評 価					学校関係者評価		総 括	
	項目	具体的方策	取組み状況・分析	達成度	次年度への改善点	意見・要望		評価
1	学校運営	・学校運営方針等の共通理解のもと、協力・協働的体制の構築 ・学校運営におけるPDCAのマネジメントサイクルの機能化 ・保護者・地域が期待する教育活動への取り組み	・職員の協働体制は概ね実現している。 ・PDCAサイクルの特にCAを積極的に行い、具体的な課題の改善につなげている。 ・庄内総合高校の各課程について違いを周知し、通信制の教育活動について理解を促す。	B	・PDCAサイクルのさらなる充実に努め、校務・業務改善への組織的な取り組みを図る。 ・HPを活用し生徒・保護者、地域への情報発信を行い、本校通信制課程の周知に努める。	・多様な生徒の学びの場として今後も必要性は高まることが考えられる。 ・生徒アンケートで、本校に入学して良かったとする回答が多く、先生方が一生懸命指導している様子が窺える。	A	・昨年度並みに87名(昨年度89名)という多くの入学生を迎え、活発な学習活動が継続された。 ・生徒の学習環境、生活環境の整備に努め、安心安全な環境作りに取り組んだ。 ・PDCAサイクルのCAを意識し、移転後の学習における新しい取組を検証することで教育活動の課題を発見し業務改善を行うことができた。 ・入学生の増加、入学形態の変容、多様な生徒への対応等、地域の通信制教育の拠点としての要請に応えつつ、通信制における主体的な学びとなるような体制整備を行う必要がある。
2	学習指導	・個々の生徒の状況に応じた学習指導の工夫 ・学習環境の改善 ・課題や評価の在り方の研究・改善 ・卒業生40名以上、単位修得率40%以上の達成	・集中スクーリング・テスト集中期間を設定することで単位修得、履修認定の成果を上げることができた。 ・卒業生の数は昨年度より4名増加となり、目標を達成した。努力賞表彰者数は昨年度より4名増の50名だった。	A	・新教育課程の完成年度にむけ、各教科・科目の研究を進め、ICTの活用等、指導体制の整備を進める。 ・基礎学力の定着や主体的な学習姿勢の醸成を図る。	・生徒1人ひとりの実情に対応した丁寧な学習支援が行われている。 ・学習環境は整えられているが、もっとCTを活用していただきたい。 ・教職員が研修する機会を作り、体制強化に努めている点が評価できる。	B	
3	進路指導	・進路達成に向けた生徒一人ひとりの能力の伸長 ・就労支援を含めた組織的なキャリア教育 ・生徒、保護者の面談と適切な助言	・生徒個々に応じた適切な進路指導を行った。 ・就労支援のためのキャリア教育講話については、久しぶりに対面で実施することができた。 ・進路目標達成に必要な能力の伸長を図るとともに、保護者向けの進路説明会も実施し、様々な情報提供を行った。	B	・進路達成に向けたキャリア教育を充実させる。 ・特別な支援が必要な生徒や社会に出ることに消極的な生徒への支援体制について継続して研究・実践する。	・生徒の進路が多様な中で工夫して指導されている部分が評価できる。 ・外部講師により学びの機会が得られている。	A	
4	生徒・保健指導	・生徒会活動、学校行事への参加状況を改善 ・全職員が共通意識を持ったルール、マナーの指導 ・生徒の抱える悩みや取り巻く環境の把握 ・生徒の相談等への適切な対応 ・特別支援教育の推進	・生徒の実情に合わせた特別活動等を実施し、生徒の貴重な活動や交流の場として満足度の高い成果をあげることができた。 ・生徒の声に耳を傾けながら、職員の情報共有を徹底し、丁寧な指導・支援を行った。	B	・生徒会活動や学校行事等、体験的な学びの意義を認識させ、継続して参加を呼びかける。 ・全職員で生徒理解に努め、特別な支援を要する生徒への組織的・系統的支援の充実を図る。	・体育・文化活動において大会成績などここ数年素晴らしい成果を収めている。 ・規律を遵守し、安心安全な学校生活が窺える。 ・学校行事に参加しやすいような工夫がもう少しあると良い。	A	
目 標		・卒業生 40名以上 ・単位修得率 40%以上			達成度	・卒業生 49名(達成率123%) ・単位修得率 47%(達成率 117%)		